

2 本市の景観特性

(1) 特徴的な景観のテーマ

【特徴的な景観を表す4つのテーマ】

前節で整理した景観特性を捉える要素から見ると、大阪の景観は一般に良好な景観と評価される「整然としたまちなみ」「水や緑が豊かな景観」「歴史や文化を感じられるまちなみ」だけでなく、「繁華街の界限的なにぎわい」をテーマとする景観も重要な要素となっていることが特徴です。

以上を踏まえ、大阪らしい景観は大都市を象徴する「風格があり、洗練された」景観、「水・緑」が豊かな景観、「歴史・文化」を受け継ぐ景観、多様な「にぎわい・活気」のある景観の4つのテーマから捉えることができ、こうした様々な印象がある景観こそが「大阪らしい景観」といえます。

① 風格・洗練

- ・大阪駅や難波駅等の大規模な交通ターミナル周辺や、御堂筋や堺筋等の都心部の主要幹線道路沿道などは、多くの人々が見る機会が多く、大都市の顔となる、風格があり洗練された景観が特徴となっています。

② 水・緑

- ・大川や土佐堀川等の河川や臨海部などの水辺や中之島公園や靱公園等の大規模な公園、風致地区などは、水や緑の潤いのある景観が特徴となっています。

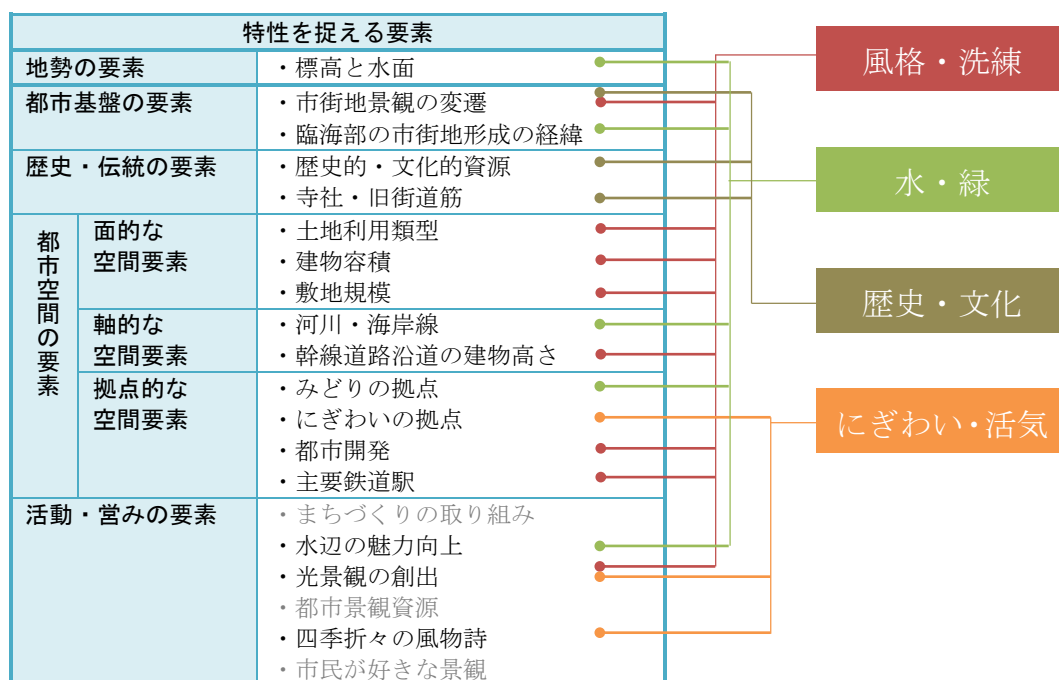
③ 歴史・文化

- ・歴史的な資源や大阪ならではの文化資源がある上町台地や船場等のエリアや、市域に点在する旧集落では、地域の歴史や文化を感じさせる深みのある景観が特徴となっています。

④ にぎわい・活気

- ・道頓堀や新世界等の繁華街や大阪城公園、USJ 等の観光地の他、市内各所の地域に根差した商店街などでは多くの人が集まり、にぎわいと活気のある景観が特徴となっています。

景観を捉える要素と特徴的な景観を表す4つのテーマの関係

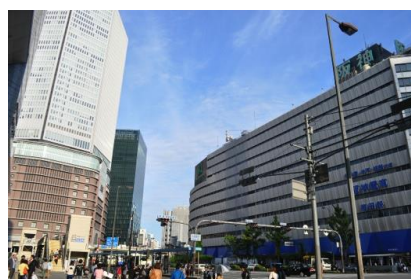
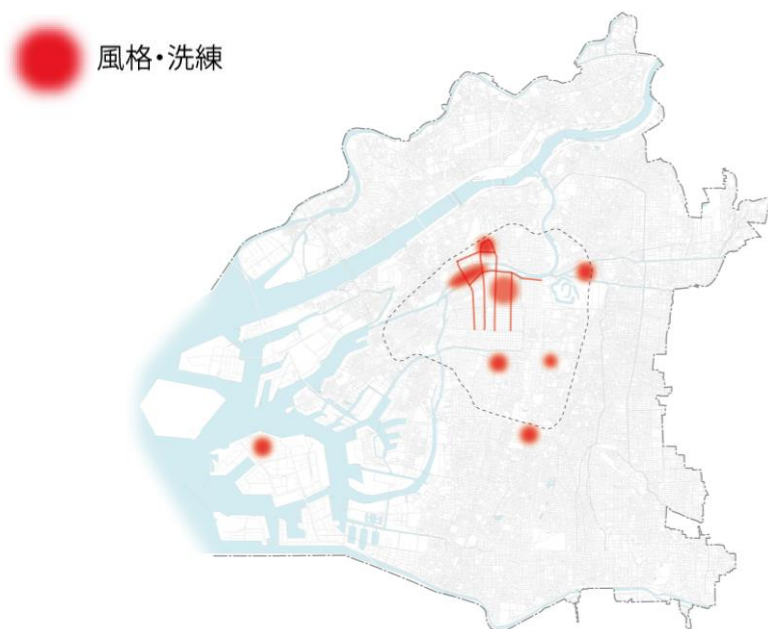


（２）特徴的な景観を有する主要なエリア

これまでに建築美観誘導制度や景観形成地域、旧美観地区などの景観施策を展開してきたエリアの他、風致地区や都市再生緊急整備地域などの都市計画により誘導を行っているエリア、さらに景観協定や地区計画などを活用して地域主導の景観まちづくりが進められてきたエリアなどにおいて特徴的な景観が形成されています。その他、大阪を代表する観光地や繁華街、市民が好きな風景を有するエリアについても特徴的な景観を有しています。

【特徴的な景観を有するエリアの分布】

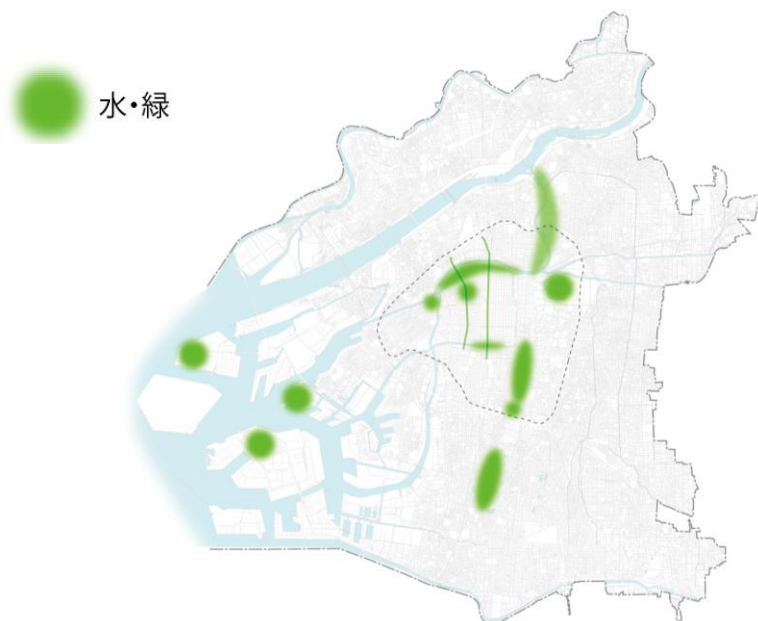
これらの特徴的な景観を有するエリアは、「風格・洗練」や「にぎわい・活気」をテーマとするものは都心部に、「水・緑」や「歴史・文化」をテーマとするものは上町台地に多くが集積するものの、特に「歴史・文化」、「水・緑」、「にぎわい・活気」は市域全域の広い範囲に分布しており、それぞれのエリアにおいて様々なテーマが垣間見える多様な印象をもつ景観が「大阪らしい景観」であると言えます。



大阪駅前



四ツ橋筋沿道

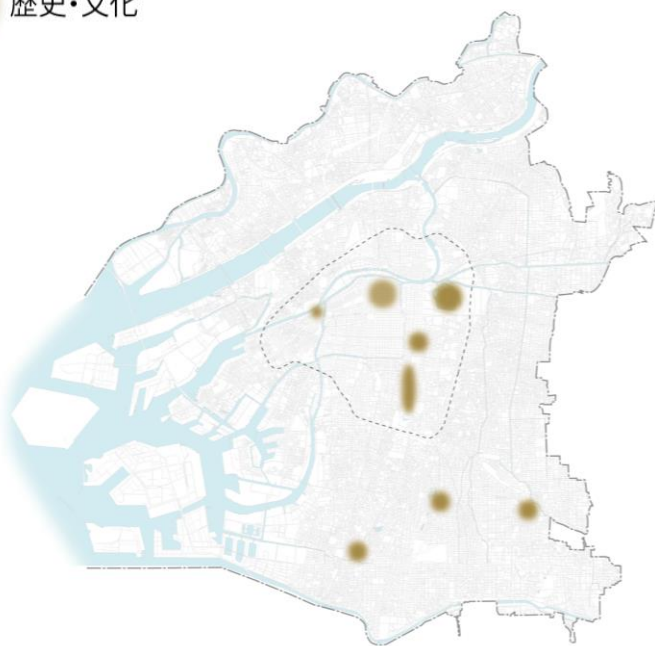


大川沿川



靱公園周辺

歴史・文化

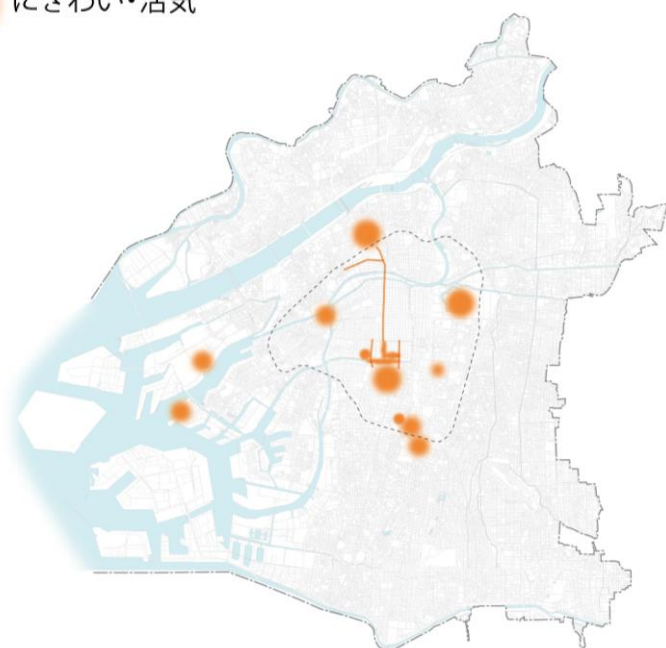


平野郷



住吉大社周辺

にぎわい・活気



道頓堀



ユニバーサルシティ駅前